

北上市文化施策ワーキング実施報告書

- 1 目的 北上市文化芸術基本条例を基に、北上市の文化芸術の未来像や必要な文化資源について考え、北上市文化芸術推進基本計画に広く市民の意見を反映させることを目的とする。
- 2 日程 令和3年6月25日（金）～11月28日（日） 全5回
- 3 参加人数 延べ 80人
- 4 実施方法
 - (1) 第1回から第4回
 - ① テーマ 北上市の文化芸術の未来像と必要な文化資源
 - ② 対象者 文教施設関係者、文化芸術団体、観光、まちづくり、国際交流、教育、福祉など多様な分野に関わる市民
 - ③ 到達点
 - ワーク1 北上市の文化芸術の10年後の未来像を描く
 - ワーク2 10年後の未来像を実現するために必要な文化資源を考える
 - ④ 進め方
 - ・開催趣旨の説明
 - ・北上市文化芸術基本条例の解説
 - ・グループわけ、自己紹介
3つのグループ（元気なまち、優しいまち、魅力的なまち）に分かれる
 - ・ワーク1 北上市文化芸術基本条例の基本理念の実現を目指して、10年後の北上市の未来像について考える。
 - ・ワーク2 10年後の未来像を実現するために必要な文化資源（人・ソフト・ハード）について考える。
 - ・グループ発表
 - (2) 第5回
 - ① テーマ 基本施策のまとめと評価指標の検討
 - ② 対象者 第1回から第4回の参加者
 - ③ 到達点
 - ワーク3 10年後の未来像につなげるための具体的施策を考える
 - ワーク4 具体的施策を進めることで求める変化について考える
 - ④ 進め方
 - ・開催趣旨の説明
 - ・北上市文化芸術推進基本計画の構成の説明
 - ・グループわけ、自己紹介
3つのグループ（元気なまち、優しいまち、魅力的なまち）に分かれる
 - ・ワーク3 第1回から第4回までに出た10年後の未来像を分類し、その未来像につなげるための具体的施策を検討する。
 - ・ワーク4 具体的施策を進めることで何がどう変わることを期待するか（求める変化、評価指標の要素）を検討する。
 - ・グループ発表

第1回文化施策ワーキングの概要

日 時	令和3年6月25日（金）午後1時30分～午後4時30分
会 場	北上市生涯学習センター 第1学習室
テーマ	北上市の文化芸術の未来像と必要な文化資源
対 象	文化施設等の職員、国際交流
参加者数	15人 (北上市文化交流センターさくらホール、日本現代詩歌文学館、北上市立博物館、北上市立鬼の館、北上市みちのく民俗村、北上市立利根山光人記念美術館、北上市国際交流協会)
ワーク1の結果	到達点：北上市の文化芸術の10年後の未来像を描く A 元気なまち：7件 「多種多様な文化芸術がいつでも鑑賞できるまち」、「いつでも誰でも新しい文化芸術をプロの芸術家から学べるまち」など B 優しいまち：3件 「性別関係なく、抵抗感なく芸術体験できるまち」、「障がいがあっても、文化芸術活動ができるしくみと、助ける人々がいるまち」など C 魅力的なまち：3件 「世代も国もこえていろいろな交流があるまち」、「発表の場があり市民がアートを身近に感じられるまち」など
ワーク2の結果	到達点：10年後の未来像を実現するために必要な文化資源を考える 人：コーディネーター、専門家（学芸員、舞台技術者、プロデューサーなど）、ジェンダーレスな人、偏見のない人、など ソフト：情報まとめサイト、障がい者と芸術団体との連携、交流イベント、人材まとめバンク、など ハード：専門店、アクセス・便利な交通手段、施設（博物館、病院、ホール、劇場など）、街並みの整備、など

※ワークの結果詳細は別表1



第2回文化施策ワーキングの概要

日 時	令和3年7月6日（火）午後1時30分～午後4時30分
会 場	黒沢尻北地区交流センター 会議室
テーマ	北上市の文化芸術の未来像と必要な文化資源について
対 象	地域づくり組織、まちづくり市民活動団体
参加者数	13人 (交流センター、北上市地域婦人団体協議会、あづま海道歩く会、手風琴笑ごまの会)
ワーク1 の結果	<p>到達点：北上市の文化芸術の10年後の未来像を描く</p> <p>A 元気なまち：4件 「食文化や衣服文化を体験したり活用したり自由にできるまち」、「皆がいろいろな芸術文化に触れることができる場所が近所にあるまち」など</p> <p>B 優しいまち：3件 「誰もが安全・安心に出かけてアクションできるまち」、「大人もこどもも笑顔で集える居場所があるまち」など</p> <p>C 魅力的なまち：3件 「沢山の選択ができ、やりたいことがすぐチャレンジできるまち」、「民俗芸能、食文化、飲み文化が盛んで注目され、人が集まるまち」など</p>
ワーク2 の結果	<p>到達点：10年後の未来像を実現するために必要な文化資源を考える</p> <p>人：匠・達人、専門家、コーディネーター、地域のリーダー、など</p> <p>ソフト：企業メセナ※、情報発信、体験イベント、地域行事（収穫祭、四季の行事）、など</p> <p>ハード：空き家の活用、地域の施設、展示できる施設、トイレの整備、など</p> <p>※企業メセナ：企業が資金を提供して、文化芸術活動を支援すること</p>

※ワークの結果詳細は別表2



第3回文化施策ワーキングの概要

日時	令和3年7月11日（日）午後1時30分～午後4時30分
会場	北上市生涯学習センター 第1学習室
テーマ	北上市の文化芸術の未来像と必要な文化資源について
対象	文化芸術活動団体、アーティスト
参加者数	15人 (北上市芸術文化協会、NPO法人芸術工房、劇団ふおんず、北上ミューズコーラス隊、北上フィルハーモニー管弦楽団)
ワーク1の結果	到達点：北上市の文化芸術の10年後の未来像を描く A 元気なまち：4件 「誰もが多様な文化芸術に気がるに身近に自由に体験できるまち」「興味が無くても文化芸術を一度は体験できるまち」など B 優しいまち：4件 「子どもと高齢者が芸術でつながれるまち」「障がいのある人も多くの種類の芸術が楽しめるまち」など C 魅力的なまち：5件 「魅力度ランキングで常に上位に入っているまち」「特有の文化」を活かせるまち」など
ワーク2の結果	到達点：10年後の未来像を実現するために必要な文化資源を考える 人：アーティスト、コーディネーター、スポンサー、指導者、など ソフト：動画配信、アウトリーチ※、交流イベント、鑑賞機会、など ハード：施設（コンサートホール、美術館、広場など）、5G、常設楽器、など ※アウトリーチ：公共機関や文化施設などが、アーティストを地域の学校や福祉施設に派遣してミニコンサートなどを行う普及活動

※ワークの結果詳細は別表3



第4回文化施策ワーキングの概要

日時	令和3年11月14日（日）午後1時30分～午後4時30分
会場	北上市総合福祉センター 研修室
テーマ	北上市の文化芸術の未来像と必要な文化資源について
対象	学生、障がい福祉施設職員、民俗芸能団体
参加者数	21人 (中学生、高校生、障がい福祉施設、北上市社会福祉協議会、北上市民俗芸能協会)
ワーク1の結果	<p>到達点：北上市の文化芸術の10年後の未来像を描く</p> <p>A 元気なまち：2件 「たくさんの方が文化芸術に関わっているまち」「幅広い世代の人や学校、地域間の交流があり、自発的に活動できているまち」</p> <p>B 優しいまち：4件 「障がいの有無にかかわらず北上のソウルフードを中心に交流できるまち」「障がいをもっている方の作品（や商品）が”なりわい”となるまち」など</p> <p>C 魅力的なまち：5件 「民俗芸能が永久不滅のまち」「いろいろな人がいつでも民俗芸能を踊れる（体験できる）まち」など</p>
ワーク2の結果	<p>到達点：10年後の未来像を実現するために必要な文化資源を考える</p> <p>人：コーディネーター、プロデューサー、インフルエンサー、民俗芸能の衣装を着た観光ガイド、など</p> <p>ソフト：イベント（民俗芸能、学校間交流、参加型など）、障がい者との交流、発信力強化、など</p> <p>ハード：練習場所、発表できる場所、教育文化施設、など</p>

※ワークの結果詳細は別表4



第5回文化施策ワーキングの概要

日時	令和3年11月28日（日）午後1時～午後5時
会場	北上市総合福祉センター 研修室
テーマ	基本施策のまとめと評価指標の検討について
対象	1～4回のワーキング参加者
参加者数	16人 (北上市文化交流センターさくらホール、北上市地域婦人団体協議会、芸術工房、北上フィルハーモニー、中学生、北上市社会福祉協議会、北上市民俗芸能協会)
ワーク3の結果	<p>到達点：10年後の未来像につなげるための具体的施策を考える</p> <p>A 元気なまち：6件 「気軽に自由にいつでも文化芸術活動ができる環境の整備」、「芸術家と芸術家を支える専門人材が移住、生活できるしくみづくり」など</p> <p>B 優しいまち：7件 「社会的マイノリティの人に向けた文化芸術活動の充実(社会包摂)」、「世代や障がいの有無を超えた交流のできる文化芸術活動の充実」、など</p> <p>C 魅力的なまち：5件 「これまでの文化芸術の施設や活動を活かしてブランド化を図る」、「地域に根差した民俗芸能活動の推進」など</p>
ワーク4の結果	<p>到達点：具体的施策を進めることで求める変化について考える</p> <p>A 元気なまち 文化芸術活動に親しむ人が増える、学習環境が整ったと思う人が増える、芸術家を必要とする人が増える、など</p> <p>B 優しいまち 社会的マイノリティの方の自己肯定感が高まる、文化芸術への愛着・理解・興味が増える、孤独な人が減る、など</p> <p>C 魅力的なまち 地域に誇りを持つようになる、民俗芸能に関心を持つ、移り住む人が増える、など</p>

※ワークの結果詳細は別表5



A 元気なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
A-1 多種多様な文化芸術がいつでも鑑賞できるまち	舞台技術者	初心者／経験者向け講座（イベント）	施設（博物館、病院、ホール、劇場）
	企画プロデューサー	情報まとめサイト	施設（誰でも立ち入りできる場所）
	配信技術者	リピーター用割引、クーポンなど	機材
A-2 いつでも誰でも新しい文化芸術をプロの芸術家から学べるまち		ライブ配信	5G
	教える技術のあるプロ	”ちょっぴり体験”まつり	専門店（市内）
		情報まとめサイト、マップカレンダー	プロが求める専門的な施設（ex. 茶室）
A-3 芸術活動の発表の場が街中にあるまち		人材まとめバンク	
		コーディネーター	
	して欲しい人・したい人のコーディネーター	情報まとめサイト	借りやすい施設
A-4 文化芸術についての相談窓口があるまち	発表の場を仕立てる舞台技術者	行政の専門相談窓口	多目的な集会所
	安全のための専門家		
	相談内容を分析し蓄積できる人・組織	コミュニティサロン	本部
A-5 芸術家が”芸術”で生活できるまち	アートマネージャー	アーツカウンシル	
	学芸員、司書	文化施設が窓口となる	
	マネージャー	社会教育主事	
A-6 芸術家を支える専門人材が生活できるまち		芸術家の誘致	専門店
		芸術家同士の交流サロン	
		情報発信の手段や場	
A-7 地域の特徴を活かして、文化芸術を楽しむことができるまち		文化に対してきちんと対価を支払う教育の浸透	
	研究者、評価者（正当な！）	企業メセナ	専門店
		メディア芸術・電子芸術保存のプロ組織	
A-7 地域の特徴を活かして、文化芸術を楽しむことができるまち		芸術家と専門人材のコーディネート窓口	
		技術研究会	
		文化財の情報まとめサイト、マップカレンダー	
A-7 地域の特徴を活かして、文化芸術を楽しむことができるまち	地域アーティスト	地域の特色を活かした文化行事	環境のいい集まりやすい場所
	プロデューサー、コーディネーター	アウトリーチ	便利な交通手段
	地域のことが好きな人（出身関係なく）	情報発信	
	交流センター職員		
B 優しいまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
B-1 性別関係なく、抵抗感なく芸術体験できるまち	コンサルタント	芸術を活用したサロン	女性のトイレ数の充実
	ジェンダーレスな人	エスコートイベント	
		芸術を活用した性別逆転体験	
B-2 障がいがあっても、文化芸術活動ができるしくみと、助ける人々がいるまち		生活に密着した文化行事	
	障がいのことを教えてくれる人	女性の民俗芸能活動	
	手をさしのべる人、介助者	男性向け文化教室	
B-3 子どもたちが学校に関係なく芸術活動に親しみ、世代をこえて芸術を通じた交流ができていくまち	アーティスト	障がい者団体の連携確立	アクセス
	参加者を楽しませてくれるアーティスト	障がい者と芸術団体との連携	設備の充実
	先導する人	障がい者に対するアーティストの活動	障がい者のアトリエ
C 魅力的なまち	参加者を楽しませてくれるアーティスト	公共の芸術クラブ（スポ少の芸術版）	アクセス
	先導する人	芸術体験機会の提供（ワークショップ、アウトリーチ）	設備の充実
	家族・保護者の理解		文化施設の利用
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
C-1 世代も国もこえているいろいろな交流があるまち	外国人（各外国人のリーダー格） ※声掛けが出来る人	自分の街を知る機会（外からの目線で見る）	集まれる場所
		新しい人、他地域に魅力を紹介する機会	外国人の出入りするサロンのな場所
	通訳できる人、言語を問わず交流できる人	交流イベント（国際フェス、気軽に参加できる民族芸能など）	民族料理の店（飲んでわいわい交流できる）
	偏見のない人（オープンハートな人）	SNS活用	
	文化交流のヒントを提案できる人（アイデアを持っている人）	食文化から仲良くなる機会の提供（料理WS、交流会、飲み会）	
	場を提供してくれる市、企業、団体、個人	海外在住日本人のネットワーク	
	外国へ行く機会（ツアー、自国のことを知る）		

ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
C-2 発表の場があり市民がアートを身近に感じられるまち	文化芸術活動をする人、みる人、支援する人	公的支援	美術館(単独で再建)
	アートが好き、興味がある人	いつもどこかで何かやっているまち	常時展示があり、いつでも見に行ける場所
	民族芸能とか北上市の芸術によるこんで参加する人	いろんな文化芸術に触れられるまち	多様な文化芸術の発表できる場所、建物
	市民芸術祭、フェス		
	絵やモニュメントをかざる、すすめる企業や学校や個人	発表までの方法を教えてくれる・体験できる機会	
	発表のイベント会社、NPO	発表している場を告知・紹介するメディア	
		フィールドアートのための場所(民俗村、夏油、温泉など)	
		フィールドアート・ロケーション・自然に触発されるまち	
C-3 若い世代が新しいことにチャレンジできるまち	アドバイザー	いろんな文化芸術が無料でできる・教える学校	ステキカフェ
	情報発信(チャレンジできるよ、やりますよ、できましたよ)する人	ベテラン世代の知識、経験、手仕事	街並みの整備(テーマ、統一感)
	民俗芸能のアレンジ	民俗文化のアレンジ	空き店舗・空き家・廃校の活用(企業、活動発表、学校など)
	気持ちが若い人	廃校、空き店舗の活用のしくみ	
	人脈コーディネーター	資金のあつめ方(補助金や助成金、クラファン)	
		見本市や一流人との交流	
	人脈バンク(登録できる)		
	グループづくり		

A 元気なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
A-8 食文化や衣服文化を体験したり活用したり自由にできるまち	食の匠、農協の女性部の指導員	多種多様なサークル	キッチンや縫製、会食設備の整った施設
	衣の匠	食事会や展示会、セミナー	展示できる施設
	達人	企業メセナ	
	参加者	情報発信、達人を紹介するホームページ	
A-9 皆がいろいろな芸術文化に触れることができる場所が近所にあるまち	偏見のない人（づくり）		
	芸術家	文化芸術プログラム	空家の活用
	芸術愛好家	アウトリーチ	公民館
	声をかける人、かけられる人	企業メセナ	地域の集会所 地区交流センター さくらホールみたいな施設
A-10 四季折々の行事を通じて、こどもから高齢者が尊敬しあえる関係づくりができていくまち	知識と経験のある高齢者	四季の行事	地域の施設
	住民	企業メセナ	空き家の活用
	地域のリーダー	助成金の活用	
	コーディネーター	情報発信	
A-11 プロの芸術家やリーダーが生活でき移住したくなるまち	プロの芸術家	芸術家の情報ポータルサイト	活動場所
	コーディネーター	芸術家の仕事	住みたくなる空き家
	専門的な技術や知識を持っている人	移住促進のしくみ	
		企業メセナ	
B 優しいまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
B-4 誰もが安全・安心に出かけてアクションできるまち	一人ひとりの個性を生かす先生（一人一芸とか、それを支える）	誰もが先生になれる仕組み（パスポート活用） →誰もが活動に参加できるレッスン	無料（もしくはSuica的な）バス・タクシー・福祉車両の運行
		移動手段の工夫（Suica的）	安全・安心な待ち合い所
		文化芸術休暇の推奨（市の補助）	メロディーロード区間
		「やさしさ芸術フェスティバル」	
B-5 大人もこどもも笑顔で集える居場所があるまち	さくらホールの専門スタッフ	空家利用 →工房・カフェ・あそびの学校・ルーズな空間	空家の整備（法の整備）
	高齢者や障がい者スタッフ		バリアフリー（年齢、性別、心）な公園
	食の匠	5G活用してパブリックビューイング	いつでもどこでも連れていけるように赤ちゃんトイレ
	あそびの先生	色々な芸術体験ができる芸術キャンプ	男女問わずトイレを整備
B-6 老若男女、外国人などが交流しやすいまち	バカな発想ができる人	寛容はくくむ「注文どおり来ない郷土料理屋」	
		近い窓口の地区交流センターとさくらホールの連携事業	
	通訳	交流体験イベント、コスプレイベント	コスプレの服屋さん
	外国人の滞在の時、サポートしてくれる人	民俗村ライトアップ	交流センターにカフェコーナー（11:30～15:00）
C-4 沢山の選択ができ、やりたいことがすぐチャレンジできるまち	昔の技術など伝えられる人	情報発信、誰にでも情報が行き渡るように	共通の趣味・芸術・文化を楽しめる場
	老若男女		外国人向けの空家活用（貸家） 家族単位で住む
	イベントするときのコーディネーター		
C 魅力的なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
C-4 沢山の選択ができ、やりたいことがすぐチャレンジできるまち	他市から先生を招く→将来は北上に住んでもらう	体験プログラム、沢山選べる種目・種類	会場
	材料・道具を販売・借用できる店・人	体験イベント	交通手段
	指導者	発表会	バスやタクシーが安く利用できる
	教わる人、チャレンジしたいと前向きな市民 情報発信する人	チラシ、広報、学校通信、ネットで情報発信 情報提供してくれるwebサイト	
C-5 民俗芸能、食文化、飲み文化がさかんで注目され、人が集まるまち	民俗芸能団体、指導者、サブ庭元、踊り手、支える人	体験イベント、交流イベント、まつり、発表できる場	飲食文化を体験・楽しめる建物・店
	民俗芸能の必要性、歴史を語る人	収穫祭	映像を見ることができ施設
	料理名人、食に詳しい人	学校で民俗芸能の指導	民俗芸能をスローモーションで再生できるDVD→体験できる
	地元材料創作料理人	ネットなどで情報を公開	岩手木炭、七輪→食文化
C-6 たくさんの芸術家が行き来し、新しい芸術家が生まれるまち	参加者、興味を持ってくれる人	民俗芸能を食べたり飲んだりしながら見る	
	情報発信してくれる人		
	コーディネーター		
	アートマネージャーを置き芸術家を招く→市内に在住させていく	芸術祭、コンクールを開催していく（定期開催し、その時芸術教室をPR）	空家活用して招いた芸術家が住める安い住宅を提供
学校に芸術教育を強化する	芸術家を生み出すプログラム	発表、交流できる建物	

A 元気なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
A-12 誰もが多様な文化芸術に気がるに身近に自由に体験できるまち	指導者	指導者リスト	交流センター
	参加者 (子供～だれもが)	芸術体験雑誌、SNS、タウン誌	常設楽器
	プロモーター	オンライン体験	
		ちょこっと体験	
		気軽に始められる団体	
		アウトリーチ 公募型アウトリーチ ホームページ (設備、施設がわかる)	
A-13 興味が無くても文化芸術を一度は体験できるまち	演者	アウトリーチ	歌声喫茶
	市民	親子レク (学校)	市内どこでも
	参加者	市役所ロビー、議場	
	PTA	健康診断、病院	
	地域	さくらホール公演時にホワイエ等で	
	通りがかりの人	地元版芸術鑑賞授業	
A-14 誰もが (プロの芸術家が) 多種多様な文化芸術を活動、発表、鑑賞できるまち	市民	人材バンク	第2, 3さくらホール 図書館一体型
	芸術家	発表会、文化プログラム	オンライン環境
	世界中の鑑賞する人	文化芸術助成制度	地区外OKの交流センター
	アートマネージャー、プロデューサー	各施設のホームページ	
A-15 どの地域にも民俗芸能が有り、そこにみんなが集まってくるまち	民俗芸能をやっているかっこいい人	祭・イベント	お祭広場
	参加者	練習	公民館
	コーディネーター	観光にからめてのイベント	楽器・道具
	スポンサー	動画配信 (情報発信)	発表できる場所
	実行委員		
B 優しいまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
B-7 子どもと高齢者が芸術でつながれるまち	子ども、親	イベント (訪問or集まるorリモート) (昔あそび・歌・カルタ・ダンス・昔話・郷土料理・絵・etc)	高齢者施設 幼稚園 展示場
	高齢者		
	芸術家		
	コーディネーター	地域全体で、子どもや高齢者を見守る仕組み	広場 (サードプレイス)
	地域の人		
B-8 障がいのある人も多くの種類の芸術が楽しめるまち	芸術家	イベント (美術・音楽・祭・手話劇・芸術を通して交流イベント・etc)	障がいに配慮した環境 (トイレ・スロープetc)
	指導者		コンサートホール
	コーディネーター	情報発信システム	美術館など
	発信者		アトリエ
	スポンサー		広場 (サードプレイス)
	サポーター (障がいに対しての)		
B-9 子連れが芸術にふれるハードルにならないまち	芸術家	コンサート	コンサートホール
	参加者	美術展	美術館など
	観客	夜のイベント	公園
	コーディネーター	動画配信	保育・教育・福祉・施設
	スポンサー	親子割引・無料システム ワークショップ (アウトリーチ)	広場 (サードプレイス)
B-10 経済的な状況にかかわらず芸術を楽しむことができるまち	アーティスト	助成制度	商業施設の中にアート
	観客	寄付	交通手段
	コーディネーター	ポイント制 (地域通貨)	ストリートピアノ (楽器)
	スポンサー (企業・個人)	無料コンサート	広報誌
	指導者	ストリートライブ	
		フリーマーケット (ファッションショー付き)	
		フリーのホール使用日	
		情報がみんなに届く仕組み 動画配信	

C 魅力的なまち

ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
C-7 魅力度ランキングでつねに上位に入っているまち	老若男女	若い人達が参加できる舞台	民俗村、展勝地、自然、文学館
	たくさんのアーティスト	いろんな地域の人と交流できるイベント	利根山美術館、ハチロー記念館、さくらホール
	コーディネーター	様々な民俗芸能に気軽に触れられる	
	達人（芸能、地域のこと精通している人）	赤ちゃんから100歳以上の方も同じステージに立てるイベント	
		地域で受け継がれてきた芸能が国内外に発信 飲み文化を情報発信 ドラマのロケ誘致（文化財活用） ネット等利用し同じダンスを皆でおどる	
C-8 前衛的な現代芸術の創造に理解のある人がたくさんいるまち	アーティスト	学校・学生、いろんな人の鑑賞の機会	さくらホール
	アートマネージャー	体験の機会（アウトリーチ・ワークショップ）	屋外ステージ
	解説者	安く見れる（発表者にはきちんと対価が支払われることを前提）	芸術家が創作活動できる環境（家、スタジオ、金）
		情報発信	
C-9 「特有の文化」を活かせるまち	文学館賞を取れる人材を育てられる人	おかあさんの詩入賞作を教育に活かす	利根山光人記念美術館
	教育者・指導者	詩の朗読をする機会	文学碑
	学芸員	活動していることを情報発信	学校
	演劇人	学校で特有の文化を体験する機会	さくらホール
	詩の会	詩・芸能・美術等が融合	
	おかあさん	民俗芸能の絵やオブジェを創作する 北上の文化芸術のすごい人を知る機会 文学碑をいかした事業 美術館をいかす 市民劇場	
C-10 いつでも技術が高められる環境が整っているまち	指導者	研修機会（オンラインも）	練習場所、会場
	レベルに合わせた指導者	人材バンク	オンラインクリニックを受けられる環境
	仲間	中古楽器等の必要物の情報サイト	5G
C-11 文化芸術の特徴を生かしてまちづくりに役立っているまち	劇場人	新人研修、社会人研修機会	
	チームワークを学びたい人	研修カリキュラム	

A 元気なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
A-16 たくさんの人が文化芸術に関わっているまち	芸術家	発表会	絵を描くのが好きな人が楽しんで創作活動できる場所
	教わる人	出張コンサートやワークショップ	
	文化芸術に関心のない人→関心のある人	展覧会	自由に発表できる場所
	コーディネーター	ストリートアートやインスタレーション	さくらホール、詩歌文学館、鬼の館、美術館、博物館
	若者、学生	対バン	
	スポンサー（資産家、企業）	日程を教えてくれるサービス	
A-17 幅広い世代の人や学校、地域間の交流があり、自発的に活動できているまち	スポーツを楽しむ人		
	民俗芸能の衣装を着た観光ガイド	参加型イベント	自然を感じ、楽しめる場所
	観光客	世代間交流イベント	公園
	コーディネーター	学校間交流イベント	学校
	インフルエンサー	伝統芸能交流イベント	地区交流センター
	公園で遊ぶ人	国際的な芸術祭	
ボランティア			
B 優しいまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
B-11 障がいの有無にかかわらず北上のソウルフードを中心に交流できるまち	プロデューサー	イベント開催	1weekレストラン開業
	コーディネーター	店同士コラボ	キッチンカーやバリアフリー店100%
	生産者・料理人	発信力強化→文化発信課設立！	重度障がい者等のためテイクアウト100%可！
	消費者		
B-12 小学生と障がい者が芸術を通して交流できるまち	コーディネーター	カリキュラム	校舎
	プロデューサー	文化発信課（New）	障がい者施設
	小学生	発信できる場（配信）	さくらH
	アーティスト	交流イベント（授業ではなく。）	HP（ネット）
	市民（芸術を享受できる力をつける）	”学校”を超えた交流（地域等）	整ったインフラ
B-13 障がいの有無にかかわらず、ふれ合える音楽があふれるまち	障がい者		
	コーディネーター	文化発信課設立	フリー楽器
	プロデューサー	障がい者と音楽家の交流	ジョイスタジオ（バル）
	裏方（音響、照明）	障がい者も一緒に立てるステージ	諏訪町全てステージ
	音楽家（障がい者含）	音楽イベント	リモート鑑賞100%
B-14 障がいをもっている方の作品（や商品）が”なりわい”となるまち	聴衆		
	障がい者	周知、告知	店（スーパー、コンビニ等）
	コーディネーター	出張販売	発信力
	客	障がい者との交流会	
		企業とのコラボ	
	商品開発		
C 魅力的なまち			
ワーク1	ワーク2 10年後の未来像に必要な資源		
10年後の未来像	人	ソフト	ハード
C-12 民俗芸能が永久不滅のまち	芸能団体	演目復活	
	後継者	動画資料	
	地域の長老	過去資料	
		資金助成金	
C-13 民族芸能の発表や鑑賞する機会が多いまち	見る人、やる人	冠婚（葬）祭、火防祭、結婚式、歳祝い	文化庁・北上市助成金
	地域の人	文化プログラム、芸能祭（夏と冬）	
	民俗芸能協会	神楽大会、例大祭	
C-14 いろいろな人がいつでも民俗芸能を踊れる（体験できる）まち	日系人のコミュニティ		
	民族芸能団体	体験学習会	練習場所
	交流センターで情報発信	団体情報	交流センター
	コンベンション協会	ホームページ	
C-15 民族芸能に全員参加するまち	ポータルサイト		
	子供会、老人会、幼・保、後援会、女性部	みんなが集まる	練習場所
	自治会長、家族（衣装）、保存会、青年会	情報：地域での知名度	
C-16 食文化をみんなに自慢できるまち	学校（小、中、高）、PTA		
	生産者	伝統芸能とのコラボイベント	名産品や郷土料理を味わえる場
	食品開発者	健康的なオーガニック食が楽しめるイベント	食イベント会場
	インフルエンサー	郷土料理の教室や授業	テレビで話題のスイーツがいつでも手に入る場所
	調理する人	食べ比べイベント	健康的なオーガニック食が楽しめる場所
イベント、紹介する人	食べ比べセットの通販		

第1回から第4回で描いた10年後の未来像		ワーク3	ワーク4
		具体的施策	求める変化
A 元気なまち	A-1 多種多様な文化芸術がいつでも鑑賞できるまち A-12 誰もが多様な文化芸術に気軽に身近に自由に体験できるまち A-13 興味が無くても文化芸術を一度は体験できるまち	a-1 気軽に自由にいつでも文化芸術活動ができる環境の整備	文化芸術活動に親しむ人が増える（参加者） 友達が増える 芸術文化のイベントが増える 活動場所提供する人が増える 文化が身近になる。おっくうでなくなる
	A-2 いつでも誰でも新しい文化芸術をプロの芸術家から学べるまち	a-2 文化芸術の学習環境の整備	身近な学習環境が整ったと思う人が増える プロから学ぶべき、質についての理解が深まる プロにお金を支払う必要があると思う人が増える 生涯学習センターや公民館で学習する人が増える、お教室が増える 建物がきれいになったり、充実する まちに住み続けながらプロを志す若者が増える
	A-5 芸術家が”芸術”で生活できるまち A-6 芸術家を支える専門人材が生活できるまち A-11 プロの芸術家やリーダーが生活でき移住しなくなるまち	a-3 芸術家と芸術家を支える専門人材が移住、生活できるしくみづくり	芸術への理解者が増える 芸術家の種類が増える 芸術家が本業に専念できる 芸術家を必要とする人が増える ※資金の出所を確保しないとイケない
	A-8 食文化や衣服文化を体験したり活用したり自由にできるまち	a-4 地域特有の食文化や衣服文化の発信	その地域の食材を作って料理を作り、SNS等で発信できる レシビが増えたと思い喜ぶ人が増える 物や食に対して大切な気持ちが増す→地域の文化や地元の食材に誇りを持つようになる 健康的な生活を意識する人が増える 眠っている物、知恵を掘り起こすことができる 世代間交流が深まる
	A-10 四季折々の行事を通じて、こどもから高齢者が尊敬しあえる関係づくりができていくまち	a-5 四季折々の文化を通じた世代間交流の促進	四季と文化に密接な関係があることがわかり、地域に誇りを持つようになる 季節の移ろいを味わえる人が増える 世代の異なる友人が増える 地域の顔見知りが増え、知らない人がいなくなり、不審者や犯罪が減る
	A-15 どの地域にも民俗芸能が有り、そこにみんなが集まってくるまち A-17 幅広い世代の人や学校、地域間の交流があり、自発的に活動できているまち	a-6 民俗芸能の担い手の育成と観光との連携	地域住民が民俗芸能に関心を持つ 民俗芸能にほこりを持つ 民俗芸能のみりよくを知りたい人が増える 観光客が増える→まちがにぎわう→魅力度ランキングup 外国人観光客が増える（警備の質の変化） メディア露出が増える
B 優しいまち	B-1 性別関係なく、抵抗感なく芸術体験できるまち B-4 誰もが安全・安心に出かけてアクションできるまち B-6 老若男女、外国人などが交流しやすいまち B-10 経済的な状況にかかわらず芸術を楽しむことができるまち	b-1 社会的マイノリティの人に向けた文化芸術活動の充実（社会包摂）	社会的マイノリティの方の自己肯定感が高まる 社会的マイノリティの方のコミュニケーション能力が高まる 社会的マイノリティの方が芸術が好きになる 社会的マイノリティの方の地域愛が増える 理解あるアーティストが増える
	B-2 障がいがあっても、文化芸術活動ができるしくみと、助ける人々がいるまち B-3 子どもたちが学校に関係なく芸術活動に親しみ、世代をこえて芸術を通じた交流ができていくまち B-7 子どもと高齢者が芸術でつながれるまち	b-2 世代や障がいの有無を超えた交流のできる文化芸術活動の充実	文化・芸術への愛着・理解・興味が増える お互いへの理解が深まる 地元愛が深まる 地元ネットワークが広がり、孤独な人がいなくなる 企業・産業の活性化
	B-4 誰もが安全・安心に出かけてアクションできるまち B-5 大人も子どもも笑顔で集える居場所があるまち B-6 老若男女、外国人などが交流しやすいまち B-7 子どもと高齢者が芸術でつながれるまち	b-3 誰もが親しむことのできる多様な文化芸術活動の充実	文化芸術に親しめる人が増える。（積極的に）心が豊かになる 好きな文化芸術が増える
	B-5 大人も子どもも笑顔で集える居場所があるまち	b-4 誰もが文化芸術活動に親しみながらいつでも集える近い場所づくり	コミュニティーが増え、孤独な人がへる 気軽に文化芸術に親しめる 農・工・業への貢献（お互いに）
	B-8 障がいのある人も多くの種類の芸術が楽しめるまち B-11 障がいの有無にかかわらず北上のソウルフードを中心に交流できるまち B-13 障がいの有無にかかわらず、ふれ合える音楽があふれるまち	b-5 障がいの有無にかかわらず親しむことのできる文化芸術活動の充実	障がいを持っている方の自己肯定感が高まる。 障がいを持っている方と交流する人が増え、お互いの理解が深まる 障がいを持っている方が文化芸術を好きになる 障がい者に対する施設のサービスが増える
	B-9 子連れが芸術にふれるハードルにならないまち B-12 小学生と障がい者が芸術を通して交流できるまち	b-6 子どもに向けた親しみやすい文化芸術活動の充実	子どもの自己肯定感が高まる 子どものコミュニケーション能力が上がる 子どもが文化芸術を好きになる 親子のコミュニケーションが深まる 子どもとアーティスト等のネットワークが広がる
	B-14 障がいをもっての方の作品（や商品）が”なりわい”となるまち	b-7 障がいを持っている方が文化芸術を仕事にできる環境づくり	障がいを持っている方への理解が深まる アーティストとして有名人になり、ファンが増える（地元の魅力となる） 障がいを持っている人の職の幅が広がる

第1回から第4回で描いた10年後の未来像		ワーク3	ワーク4
		具体的施策	求める変化
C 魅力的なまち	C-1 世代も国もこえていろいろな交流があるまち C-2 発表の場があり市民がアートを身近に感じられるまち C-3 若い世代が新しいことにチャレンジできるまち C-4 沢山の選択ができ、やりたいことがすぐチャレンジできるまち	c-1 他の国、都市の文化を受け入れ、交流を図る	視野が広がり人間成長につながる 新しい文化が生れる 他社からの評価を受け再発見することができる 北上市に関心を持つ人が増える 他地域の真実を知ることができる 他地域の人に優しく、親切にしたいという、おもてなしの心が育つ
	C-5 民俗芸能、食文化、飲み文化がさかんで注目され、人が集まるまち C-16 食文化をみんなに自慢できるまち	c-2 北上の食文化と芸術が融合する取り組み	芸術愛好家が増える 飲食店で文化芸術の発表が増える 夜の人口が増える 芸術を体験、鑑賞した後の飲食店を利用 地元の食材を活かして、食の匠が生れる
	C-6 たくさんの芸術家が行き来し、新しい芸術家が生まれるまち C-8 前衛的な現代芸術の創造に理解のある人がたくさんいるまち	c-3 新しい芸術を創作し、活かし、発表し、芸術家が育つ取り組み	表現の自由・多様性の理解者が増える 芸術家の移住者が増える 芸術家が増える 有名人が生まれる
	C-9 「特有の文化」を活かせるまち C-11 文化芸術の特徴を生かしてまちづくりに役立てているまち	c-4 これまでの文化芸術の施設や活動を活かしてブランド化を図る	文化に対する需要が増える。施設利用者増にもつながる マスコミに取り上げられること。アナウンス効果が期待される 有名人が生まれる 市民が市の魅力を（再）確認できる 市への訪問者が増える。移り住む人も増える
	C-12 民俗芸能が永久不滅のまち C-13 民族芸能の発表や鑑賞する機会の多いまち C-14 いろいろな人がいつでも民俗芸能を踊れる（体験できる）まち C-15 民族芸能に全員参加するまち	c-5 地域に根差した民俗芸能活動の推進	地域行事の参加者が増える 地域の民俗芸能にふれる人が増える 地域愛が生まれ、住民のまとまりも生れる 民俗芸能の後継者が増える 見にくる人の年齢層が広がる